



令和3年3月26日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス  
代表者 代表取締役会長 三吉野 健滋  
(東証マザーズ・コード番号 3782)  
問合せ先 経営管理部長 小野寺 光広  
電話番号 052-955-5720  
(URL <http://www.dds.co.jp>)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 令和3年3月26日 10:00~11:30  
開催方法 対面による実開催  
開催場所 日本会議室 法研中部 久屋大通店 第1会議室  
(愛知県名古屋市中区丸の内3-7-19 法研中部ビル8階)  
説明会資料名 2020年12月期 期末 決算説明資料

【添付資料】

1. 2020年12月期 期末 決算説明資料



# 2020年12月期 期末 決算説明資料

株式会社ディー・ディー・エス  
東証マザーズ 証券コード 3782



## ■ アジェンダ

---

- 2020年12月期 期末業績サマリー
- 2021年12月期 通期業績の見通し

# 2020年12月期 期末 業績サマリー

# 2020年12月期 期末 業績サマリー

(単位：百万円)

	2019年12月期 期末連結 累計期間	2020年12月期 期末連結 累計期間	前年同期比
売上高	1,164	1,156	△8
売上原価	469	586	+117
売上総利益	694	569	△125
販売費及び一般管理費	859	723	△136
営業利益	△164	△153	+11
経常利益	△266	△169	+97
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	△173	△196

- ・ バイオ事業：官公庁・自治体に加え社会インフラを支える公的な企業から大規模案件を多数受注し概ね計画通りに推移
- ・ マガタマ・FIDO事業：数社の大型案件に対しPOC（概念実証）を有償で受注し検証を終え準備万端の状況まではきましたが、コロナ禍による経費圧迫のあおりを最終的に受けることとなりました。
- ・ 海外・アルゴリズム事業：コロナ禍における検討の遅延や、センサー増産遅れにより、当連結会計年度における売上計上はできませんでした。また、海外事業では当社の製品の販売やそれに伴うSI事業のビジネスが軌道に乗りました

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年12月期 期末	2020年12月期 期末	前期末比
流動資産 (うち現預金)	1,563 (224)	2,702 (1,794)	1,139 (1,570)
固定資産	434	890	456
資産合計	1,998	3,592	1,594
流動負債	312	434	122
固定負債	102	221	119
負債合計	415	655	240
純資産合計 (うち資本金)	1,583 (763)	2,936 (1,520)	1,353 (757)
自己資本比率	78.7%	80.7%	+2.0%

- ・ 資産の増加の主な要因は現預金の増加（1,570百万円）
- ・ 純資産の増加の主な要因は資本金の増加（756百万円）

# キャッシュフロー

(単位：百万円)

決算年月	2016年12月	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月
営業活動による キャッシュフロー	△90	48	△67	△121	△134
投資活動による キャッシュフロー	395	△201	△477	△358	200
財務活動による キャッシュフロー	△162	231	798	123	1,504
現金及び現金同等 物の期末残高	250	329	581	224	1,794

## 為替レート等

	2019年12月期 期末	2020年12月期 期末	前年同期比
為替レート（\$円）	110.56	104.50	△6.06
為替レート（KRW円）	9.66	9.72	+0.06
為替レート（S\$円）	—	78.84	—
1株当たり当期純利益	0.56	△3.92	△4.48

連結会社従業員数（人）	2019年12月期 期末	2020年12月期 期末	前期末比
従業員（人）	56	59	+3

# 第三者割当第9回新株予約権に関して

## 本新株予約権の概要

- (1) 本新株予約権の割当先 マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社
- (2) 本新株予約権の割当日 2020年6月18日
- (3) 本新株予約権の行使完了日 2020年10月13日
- (4) 本新株予約権の株 642 個 (1 個につき 10,000 株)
- (5) 資金調達額 1,513,836,000 円  
(本新株予約権発行価格 11,556,000 円を含む)

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
スマートフォン向け指紋認証事業の研究開発	1,509	2020年6月~2023年12月
(1)モバイル向け指紋センサー及び指紋認証 アルゴリズムの研究開発	689	2020年6月~2023年12月
(2)指紋センサーの量産試作と量産準備費用	820	2020年6月~2023年12月

# 第三者割当第8回新株予約権に関して

2018年9月3日にマイルストーンを割当先として第8回新株予約権を発行いたしました。  
 2020年6月2日迄に162個の新株予約権の行使が行われ、636,674,800円の資金調達が行われました。  
 同日未行使分の全てを取得し、償却致しました。

## 資金充当状況

2020年4月末日時点  
 (単位：千円)

①	ブロックチェーン市場参入のための研究開発投融资	305,564
	うち(1) ハードウェアウォレットの開発	80,000
	うち(2) 決済関連システムの開発	50,000
	うち(3) 「どこでも本人確認」機能強化	40,000
	うち(4) ブロックチェーンをベースとした分散認証基盤の開発	135,564
②	生体認証手段に関する基礎研究開発投資	181,035
	うち(1) 顔認証アルゴリズムの研究及び同エンジンSDK開発	60,000
	うち(2) 虹彩認証アルゴリズムの研究	121,035
③	運転資金等への充当	87,263
	合計	573,862
④	未充当	62,812

## その他

### ◆ 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症拡大により、4月初頭より当社では東京支社を中心に在宅勤務を始め、状況に応じ全社にて在宅勤務を行ってまいりました。しかしながら、予め事業継続を前提にテレワークに耐えうる情報システムを構築してまいりましたので、業務への支障は起きておりません。

また、総務省より、テレワークの導入・活用を進めている企業・団体を「テレワーク先駆者」とし、その中から十分な実績を持つ企業等「テレワーク先駆者百選」に選ばれました。

もしも社員に感染者が発生しその部署が自宅待機になったとしても、事業継続性に問題は発生しません。

需要についてもプロジェクトの遅延は見られるものの、逆にテレワークの増加による追加発注やプロジェクトの前倒しが見られ、大きな変化は有りません。さらに、サプライチェーンの寸断についても、十分な在庫を確保できており機会損失も起きておりません。

# 2021年12月期 通期業績の見通し

## 2021年12月期 通期業績見通し

2021年12月期については、いまだ新型コロナウイルス感染の収束時期や感染拡大による影響がまったく見通せず不透明感の強い状況にあります。お客様のニーズに対しより適合したものを創出し、当社代理店網を活用し売上増加を推進してまいります。

また、海外及び国内指紋センサ事業におきましては、1案件の規模が大きく前年より受注、納品、売上の時期が見通しづらい状況が続いております。このような状況下におきまして、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。

よって、当社の2021年12月期連結・個別業績予想については、合理的な算定ができない為公表しておりません。

# お問い合わせ先



## 株式会社ディー・ディー・エス

### 本社

〒460-0002  
名古屋市中区丸の内三丁目6番41号 DDSビル 7F  
[TEL:052-955-6600](tel:052-955-6600) (代表)

### 東京支社

〒108-0075  
東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー14階  
[TEL:03-6712-3560](tel:03-6712-3560) (代表)

## 会社概要

商号 株式会社ディー・ディー・エス（英文表記 DDS, Inc.）

創業 平成4年9月

設立 平成7年9月

資本金 15億2,076万円（2020年12月31日現在）

上場市場 東証マザーズ上場

決算日 12月31日

従業員数 56名（2019年12月31日現在）

拠点

本社： 名古屋市中区丸の内三丁目6番41号 DDSビル7F  
TEL：052-955-6600（代表） FAX：052-955-6610

東京支社： 東京都港区港南二丁目16番1号品川イーストワンタワー14F  
TEL：03-6712-3560（代表） FAX：03-6712-8762

海外拠点： 韓国ソウル DDS KOREA, INC.  
（子会社） DIGITAL DEVELOPMENT SYSTEMS, INC. U.S.A.

事業内容

◆バイオメトリクス事業

PCおよびスマートフォン向けの認証ソリューションなど、生体認証テクノロジーを活用したセキュリティ製品の開発・販売

◆マガタマ・FIDO 事業

オンライン認証の国際標準化規格 FIDO（Fast IDentity Online）に準拠した認証技術を活用したセキュリティ製品の開発・販売

◆指紋センサ事業

スマートフォンを中心に各種デバイスのセンサモジュールの開発・販売

◆ブロックチェーン事業

ブロックチェーン関連技術と生体認証技術を融合した製品の開発・販売

役員構成

代表取締役会長 三吉野 健滋

代表取締役社長 久保 統義

取締役副社長 柚木 健一郎

取締役 松下 重恵

取締役 林 森太郎

監査役 大島 一純

監査役 宗岡 徹

監査役 山口 順平



株式会社ディー・ディー・エス

会社案内



<https://www.dds.co.jp/ja/>



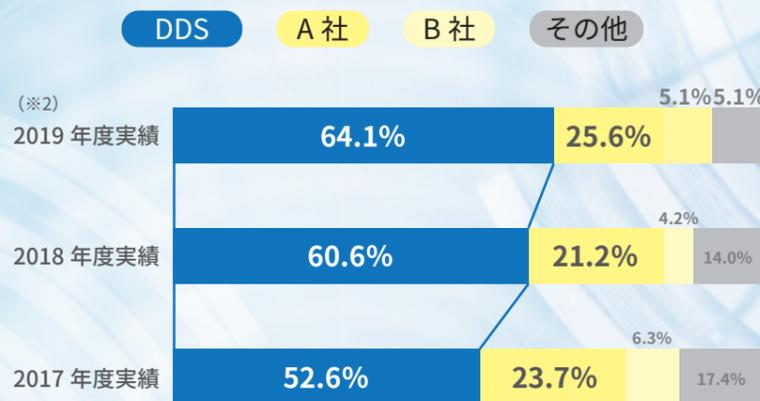
# バイバイパスワードカンパニーがめざす社会

DDS は、指紋認証ソリューションのリーディングカンパニーとして創業以来、産学連携による技術開発に積極的に取り組んでおります。多様化する情報セキュリティ・ソリューション・ニーズに対応可能な「万能認証基盤 Themis」、「多要素認証基盤 EVE MA」および「二要素認証基盤 EVE FA」を始めとする情報セキュリティ製品の開発・販売を行っております。

また、当社は2014年より「バイバイパスワードカンパニー」を標榜し、日本初の FIDO Alliance 参加企業として啓蒙活動を推進してまいりました。その結果、国内でも携帯通信事業者やメガバンク、大手インターネット事業者などが続々と FIDO に参加し、当社の事業提携先やパートナー企業数も飛躍的に増えてきています。2015年10月に FIDO 応用の新サービスである「マガタマ」プラットフォームを発表し、本人認証の世界を広げる新しい認証サービスの普及に努めております。

## PC 向け指紋認証シェア推移

指紋認証市場で9年連続出荷台数シェア No.1 (※1)

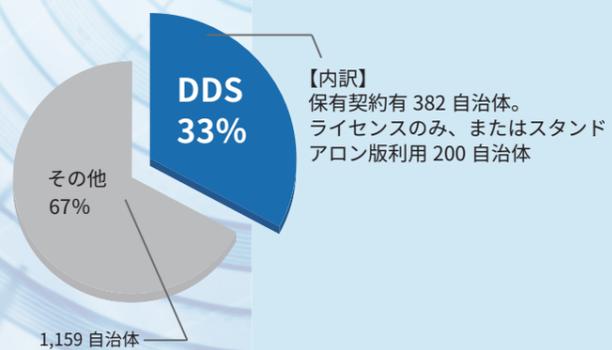


※1: 出典: (株) 富士キメラ総研 2012～2020「ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」認証デバイス 指紋認証ユニット 数量ベース 2011～2019年度実績

※2 出典: 富士キメラ総研『2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧』(2017年実績は『2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧』2018年度実績は『2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧』)

## 自治体（市区町村）への導入状況

※DDS調べ



## 指紋認証ソリューションで19年以上の実績

累計112万ライセンスの出荷実績

## 会社沿革

